ヘーゲルが提唱した弁証法とは？世界がどのように出来ているのかを知る方法 Part 2

弁証法の考え方その２：

２．ゆるやかな変化によって分岐点（転機、変わり目）が訪れ、対立する何かに打ち勝つ

地下のプレートが徐々に圧迫されて、掛かる力に耐えられなくなった分岐点を迎えて、地震が起こるように、淡く光る夕日ばゆっくりと地平線に落ちて行き、落ちた変わり目に夜になるように、何かを理解しようとジリジリと勉強したり本を読んでいると、突如、電球が点灯したかのように理解に至るように。

世の中の多くの物事は、緩やかな変化によってもたらされます。

もちろん、部屋の電気のオンオフであったり、こめかみへの銃弾一発で生から死へ変化するように、素早く変化する事も多くあります。

しかし、多くの人が求めるような富、名声、力と言うのは一瞬で手にするのは難しく、ゆるやかに積み上げる日々の努力によってもたらされる事が多いのではないでしょうか？

ローマは一日にして成らず。

例えば、一瞬で頭が良くなったり、ダイエットに成功したり、スポーツが出来るようになる魔法のような変化は無いのがこの世界の法則の一つ。

例えば、独立戦争では、イギリスから独立しようとしたアメリカも、１３年間に渡る戦争を経て、対立するイギリスに打ち勝って独立と言う転機を迎える事が出来たのです。

もちろん、今の各国の兵器力を踏まえれば、一瞬で戦争を方付ける事が出来るかもしれませんが…

今回の動画で理解して頂きたい事は一つです。緩やかな変化によって分岐点が訪れる。だからこそ、日々の積み重ねが大事になってくると言う事です。

「小さな事を毎日、コツコツとなんてやってらるか！」と言うあなた。あなたのような一瞬で変化を起こそうとするような人間を餌に、宝くじ会社やカジノ、パチンコ店は儲かり、怪しい教育商材やダイエットサプリは潤っていると言う現実をご存知でしょうか？

現実から目を背けた所で現実が変わらず。そして、時として、その現実はあなたに牙を向く事だってあるかもしれません。